

	分野	人物
	地域	相知
峯焔（みねきとう） ～相知村政の基礎を築く～		
◎地図・写真・統計資料など		
<p>■峯焔（みねきとう） 相知村長 嘉永4年(1851)－大正7年(1918)</p> <p>相知の梶山村（現本町）に生まれる。父の早世により文久3年(1863)数え年13歳で梶山村庄屋となるが、祖父と母とが後見をしている。（庄屋としての年齢が足りないのか、一年で4・5歳も加齢した記録がある）</p> <p>明治6年(1873)相知村ほか4ヵ村の村長となり、同8年佐賀県第五大区六小区副長。同11年相知村・梶山村・山崎村の戸長。同17年6月相知村ほか15ヵ村戸長に就任。その後、明治22年町村制が実施されると相知村長となり、大正4年(1915)3月までを勤め、相知村政の基礎を築いた。明治36年5月藍綬褒章を受賞。大正7年11月10日、全国に猛威を奮ったスペイン風邪により肺炎を併発し逝去、享年67歳。文久3年から没年までの日記が残っていて「相知町史」作成の根本資料となった。相知中学校への登り口、相知区の集会所天徳閣の前の丘に「峯翁頌徳碑」がある。</p>		
◎引用・参考文献（出典）		
<p>◆相知を語り継ぐ会 ◆祭城一子 会長 文責</p>		
◎もっと詳しく知りたい方は		
<p>唐津市近代図書館へ お問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html</p>		